

令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年4月1日から令和4年3月31日までににおける事業状況の概要は、次のとおりである。

1 研修会、講習会事業

今年度は、新型コロナウイルス感染症に対する対応上、研修等について、定例の受講者・受験者が会場に集まる形式の開催を中止した。ただし、研修受講が資格保有者の登録等に支障をきたすものについては、該当者に対する代替の措置としてWebセミナー方式による研修等、郵送方式による試験を実施した。

その実施状況概要は、次の(1)から(6)のとおりである。

- (1) 文化財の虫菌害防除に関する講習会と作業主任者能力認定試験
(令和2年度延期分)
講習会(Webセミナー方式) 令和3年7月1日～7月31日
試験(郵送方式) 令和3年8月1日～8月31日
受講者95名、受験者81名、合格者81名
- (2) 文化財の虫菌害・保存対策研修会 中止
【資格更新対象者の代替措置】
文化財IPMコーディネータ資格登録・更新のための郵送方式試験
11月実施 受験者197名
- (3) 文化財防虫防菌処理実務講習会 中止
【資格更新対象者の代替措置】
文化財虫菌害防除作業主任者更新のためのWeb講習会
講習会(Webセミナー方式) 令和3年10月1日～10月30日
受験者71名
- (4) 文化財IPM実践のための研修会 中止
- (5) 文化財IPMコーディネータ資格取得講習会と試験
講習会(Webセミナー方式) 令和3年12月1日～12月27日
試験(郵送方式) 令和4年1月10日～1月31日
受講者198名、受験者195名
- (6) 文化財の虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験
講習会(Webセミナー方式) 令和4年2月1日～2月28日
試験(郵送方式) 令和4年3月3日～3月24日
受講者61名、受験者57名、合格者55名
文化財虫菌害防除作業主任者更新試験
試験(郵送方式) 令和4年3月3日～3月24日
受験者20名、合格者19名

2 図書・資料刊行

次のとおり、機関誌等を発行した。④は、上記(2)②の代替措置の試験用の資料である。

- ①機関誌「文化財の虫菌害」 No.81(6月)、No.82(12月)
- ②文化財の虫菌害防除と安全の知識2019年 増刷
- ③文化財の殺虫・殺菌処理標準仕様書2019年 増刷
- ④文化財IPMコーディネータ資格登録・更新のための郵送方式試験用テキスト

3 調査、研究事業

(1) 燻蒸処理効果判定業務

供試虫菌数は、昨年度比でほとんど変化はなかった。効果判定書の発行数は、殺虫・殺菌ともにほぼ変化はなかった。コロナ渦の影響により施工の延期、遅延等はほとんどなかったが、主に冬季に天候不順による日程変更がみられた。

対象館数	838 館
供試虫	3,848 本
供試菌	2,816 枚
殺虫処理効果判定書	1,060 通
殺菌処理効果判定書	796 通

(2) 生物被害調査業務 6 件

毎年度契約しているもの、新規調査業務を行ったものは、次のとおりである。

- ①すみだ北斎美術館（東京都墨田区）
 - ②平塚市美術館（神奈川県平塚市）
 - ③武蔵野美術大学美術館・図書館（東京都小平市）
 - ④東京都庭園美術館（東京都港区）
 - ⑤川崎市市民ミュージアム＊
 - ⑥太田市美術館・図書館（群馬県太田市）＊
- ＊は「調査セット」を利用した環境調査。

(3) 調査セットによる虫・カビ被害調査

件数の大きな増減はないが、新規利用者やセットを複数購入された組織もあった。カビ調査セットを持参しての訪問調査という形での実施も見られた。

昆虫調査セット	18 セット
カビ調査セット	24 セット

(4) 昆虫同定調査 4 件

(5) 燻蒸受託 1 件

4 役員会・評議員会・委員会関係

いずれも、定期的な会議である。

理事会、評議員会は、新型コロナウイルス感染症の状況から、法令、定款に基づいて「書面による決議の省略」の方式を執った。

(1) 理事会

第 1 回 書面による決議

- 議案
- 1) 令和 3 年度第 1 回評議員会開催について
 - 2) 令和 2 年度事業報告および決算報告について
 - 3) 職務執行状況報告

第 2 回 書面による決議

- 議案
- 文化財 IPM コーディネータ規程の改正について

第 3 回 書面による決議

- 議案
- 1) 令和 3 年度第 2 回評議員会開催について
 - 2) 令和 4 年度事業計画（案）および収支予算（案）について
 - 3) 各委員会委員の選任について
 - 4) 職務執行状況報告

(2) 評議員会

第1回 書面による決議

議案 令和2年度事業報告および収支決算報告について

第2回 書面による決議

議案 1) 令和4年度事業計画(案)および収支予算(案)について
2) 各委員会委員の選任について

5 会員、資格登録者数

(1) 会員

前年度から会員の退会等により会費収入が減少傾向にある。法人事業の遂行のためにも会員増加の対策を講じる必要がある。

普通維持会員(甲) : 博物館、美術館、寺社、大学図書館等	49
普通維持会員(乙) : 個人	73
特別維持会員(甲) : 防除会社等	103
特別維持会員(乙) : 薬剤メーカー等	10
賛助会員 : 薬剤メーカー等	1
機関誌購読会員 : 輸送会社、大学図書館	2
合計	238

(2) 資格者数の現況

「文化財虫菌害防除作業主任者資格」、「文化財 IPM コーディネータ資格」の有資格者の登録・更新につき研修等受講が要件となっている者については、研修の代替措置として「郵送方式試験」または資格の効力延長措置を執った。

また、資格取得講習会については「Webセミナー方式」を導入したことで、受講生が増加し資格登録者が大きく増加した。

- ①文化財虫菌害防除作業主任者資格保有者数 856名
- ②文化財 IPM コーディネータ資格保有者数 775名

6 その他

他団体主催事業を活用して行う業務内容の対外的な発信および他団体の発行物を活用し当研究所事業に関する広告掲載を行った。

- ①「文化財保存修復学通信」第171号
「文化財分野における燻蒸の現状と課題」2021年7月(岩田泰幸)
- ②公益財団法人日本博物館協会 機関誌等への広告掲載(年13回)
- ③全国美術館会議 機関誌への広告掲載(年2回)
- ④文化財保存修復学会 機関誌への広告掲載(年1回)